

学科名 介護福祉学科

	授業科目名	授業時間数	担当講師	■実務経験と授業内容への活用
1	人間の尊厳と自立	30	黒木 豊城	海外での宣教師経験や、精神保健分野におけるカウンセリングおよびソーシャルワークの経験から、尊厳と人権や福祉の目指す自立の概念とそれに基づく支援を教授する。
2	人間関係とコミュニケーションⅠ	30	黒木 豊城	介護実践現場におけるサービス立ち上げのプロジェクトマネージャーの経験や精神保健分野におけるカウンセリングおよびソーシャルワークの経験から、自己理解・他者理解の必要性と方法、対人援助に求められるコミュニケーション技法をトレーニングする。
3	人間関係とコミュニケーションⅡ	30	黒木 豊城	介護実践現場におけるサービス立ち上げのプロジェクトマネージャーの経験や精神保健分野におけるカウンセリングおよびソーシャルワークの経験から、自己理解・他者理解の必要性と方法、対人援助に求められるコミュニケーション技法をトレーニングする。
4	高齢者に対する支援と介護保険制度	30	黒木 豊城	介護サービス施設運営の経験から、介護保険制度の利用の流れと報酬の流れについて教授する。
5	介護のための心理と音楽	30	高橋 透馬 平野 夏子	地域精神保健福祉の臨床現場で主に精神障害をお持ちの方に対する相談支援業務を行ってきた教員による、実践経験を活かした講義を行う(高橋)。 また音楽療法士として25年以上にわたり介護施設および認知症病棟で音楽療法を実践し、豊島区認証の認知症カフェにおいても音楽を活用した実践を行ってきた経験をもとに、介護の現場で音楽を有効に活用する方法を、体験的・実践的な授業の中で教授する(平野)。
6	介護の基本Ⅰ	30	宮里 裕子	介護福祉士として長年介護現場で勤務し、実際の福祉制度・介護の変遷の現状を伝える事ができる。高齢者・障がい者・施設系・在宅支援と各サービス種別で介護業務に携わってきたことで、種別ごとの介護現場や、実際の事例を用いた講義とする。
7	介護の基本Ⅱ	30	宮里 裕子	介護福祉士として長年介護現場で勤務し、実際の福祉制度・介護の変遷の現状を伝える事ができる。高齢者・障がい者・施設系・在宅支援と各サービス種別で介護業務に携わってきたことで、種別ごとの介護現場や、実際の事例を用いた講義とする。
8	コミュニケーション技術Ⅰ	30	黒木 豊城	カウンセラーとしての経験を踏まえ、自己理解が他者へ与える影響への理解と自分自身の活用の仕方を教授する。
9	生活支援技術Ⅰ	60	細野 真代 齊藤 美由紀 永嶋 千秋 徳山 滋久	介護福祉士として長年介護現場で勤務した教員による実技演習とする。高齢者・障がい者・施設系・在宅支援と各サービス種別で介護業務に携わってきた実際の事例を用いた講義とする。また、現役の介護福祉士を招いて、現場で求められている実践的な講義とする。
10	生活支援技術Ⅱ	90	細野 真代 齊藤 美由紀 宮里 裕子 中島 たまみ	介護福祉士として長年介護現場で勤務した教員による、介護現場を踏まえた実技演習とする。高齢者・障がい者・施設系・在宅支援と各サービス種別で介護業務に携わってきたことで、種別ごとの介護現場や、実際の事例を用いた講義とする。
11	介護過程Ⅰ	30	宮里 裕子	介護福祉士として長年介護現場で勤務した経験から、実際の福祉制度・介護の変遷の現状を伝える事ができる。高齢者・障がい者・施設系・在宅支援と各サービス種別で介護業務に携わってきたことで、種別ごとの介護現場や、実際の事例を用いた講義とする。
12	介護過程Ⅱ	30	宮里 裕子	介護福祉士として長年介護現場で勤務した経験から、実際の福祉制度・介護の変遷の現状を伝える事ができる。高齢者・障がい者・施設系・在宅支援と各サービス種別で介護業務に携わってきたことで、種別ごとの介護現場や、実際の事例を用いた講義とする。
13	介護総合演習Ⅰ	30	岡本 啓介	介護福祉施設等での勤務後、介護福祉士養成教員として20年以上の指導経験があり、現在も介護事業所等で介護教育、介護システムのアドバイザーを務める。それらの経験を活かし講義を行う。
14	介護総合演習Ⅱ	30	岡本 啓介	介護福祉施設等での勤務後、介護福祉士養成教員として20年以上の指導経験があり、現在も介護事業所等で介護教育、介護システムのアドバイザーを務める。それらの経験を活かし講義を行う。
15	介護実習Ⅰ	120	学科専任	介護・医療の現場を経験した教員による指導。
16	介護実習Ⅱ	120	学科専任	介護・医療の現場を経験した教員による指導。
17	発達と老化の理解Ⅰ	30	八子 久美子	訪問看護ステーションで8年の看護師の実務経験から、在宅で暮らす高齢者の身体的、心理的、社会的特徴を伝え、ライフステージごとの特徴への理解を深めていく。
18	発達と老化の理解Ⅱ	30	金城 隆	看護師を取得後、病院・福祉施設に10年以上勤務。現在も福祉事業所で高齢者の健康管理・リハビリなどを担当する。人間の成長・発達・老化について、実際の事例を交えて講義する。
19	発達と老化の理解Ⅲ	30	八子 久美子	訪問看護ステーションで8年の看護師の実務経験から、在宅で暮らす高齢者に多い疾患・症状について生活の留意点が理解できるように教授する。また在宅で暮らす高齢者の身体的、心理的、社会的特徴を理解できる事例を講義に取り入れる。
20	発達と老化の理解Ⅳ	30	金城 隆	看護師取得後、病院・福祉施設に10年以上勤務。現在も福祉事業所で高齢者の健康管理・リハビリなどを担当する。高齢者の健康に対する考え方や、疾病及び症状など、実際の事例を交えて講義する。
21	認知症の理解Ⅰ	30	八子 久美子	訪問看護ステーションでの実務経験から、認知症の人の特性を踏まえて基礎知識を教授する。また認知症の人の暮らし方、関わり方などを紹介する。
22	認知症の理解Ⅱ	30	金城 隆	看護師取得後、病院・福祉施設に10年以上勤務。現在も福祉事業所で高齢者の健康管理・リハビリなどを担当する。認知症利用者の症状やケアを実例を交えて講義する。
23	障害の理解Ⅰ	30	齊藤 美由紀	介護福祉士、介護支援専門員として10数年介護現場に従事。これまでの様々な経験や実際の事例を通し、理論だけでなく介護現場で習得した知識をどのように活かしていくのか、学生がより深くイメージできるような授業を進める。
24	こころとからだのしくみⅠ	30	八子 久美子	看護師として大学病院で3年、訪問看護ステーションで8年の実務経験を生かし、まず健康であるためのこころとからだのしくみの理解を深める。さらに介護現場で出会う疾患に関する基礎知識を生活との関連で理解できるよう事例を紹介したり、学生自ら考える機会を作り授業を進めていく。
25	こころとからだのしくみⅡ	30	大谷 修	医師としての実務経験と大学における医学教育(主として解剖学)の経験を授業内容に活用する。
26	こころとからだのしくみⅢ	60	八子 久美子	看護師として大学病院で3年、訪問看護ステーションで8年の看護師の実務経験がある。特に訪問看護での看護師、介護支援専門員の経験から、その人らしさ、自立支援に向けた生活支援に必要とされる医学的知識と、多職種との連携の重要性を事例や現状施設の取り組み例などを伝える。
27	こころとからだのしくみⅣ	60	大谷 修	医師としての実務経験と大学における医学教育(主として解剖学)の経験を授業内容に活用する。
28	生活と福祉	30	黒木 豊城	ソーシャルワーカーとしての経験から、個人の問題と見られがちな社会問題を社会の課題として認識する視点を教授する。

29	社会保障制度	30	山本 正司	福祉事務所における相談援助経験と介護保険・介護扶助の運用にあたり、地方公共団体でシステム作りをした経験から、介護サービスの利用者およびその家族からの介護サービス利用手続き方法や保険給付管理の方法について、具体的に示すことにより、介護保険制度に対する理解を深める。
30	障害者に対する支援と障害者自立支援制度	30	片桐 正善	主に知的障害者と社会に名指される人たちと地域で生きていくための、現在も継続中の20年ほどの実践を踏まえ、契約制度を無条件に礼賛する教科書的な語りに対して、批判的検討を加えていく。
31	介護の基本Ⅲ	60	細野 真代	介護福祉士を取得後、介護老人保健施設、介護療養病床等で10年程度勤務。福祉施設での介護実務経験をもとに、基本的な介護技術と、現場で勤務する上で必須と思われる介護における着眼点について教授する。
32	介護の基本Ⅳ	60	細野 真代	介護福祉士を取得後、介護老人保健施設、介護療養病床等で10年程度勤務。福祉施設での介護実務経験をもとに、基本的な介護技術と、現場で勤務する上で必須と思われる介護における着眼点について教授する。
33	コミュニケーション技術Ⅱ	30	黒木 豊城	カウンセラーとしての経験を踏まえ、自己理解が他者へ与える影響への理解と自分自身の活用の仕方を教授する。
34	生活支援技術Ⅲ	90	宮里 裕子 中島 たまみ	介護福祉士として長年介護現場で勤めてきた教員による、介護現場を踏まえた実技演習とする。高齢者・障がい者・施設系・在宅支援と各サービス種別で介護業務に携わってきたことで、種別ごとの介護現場や、実際の事例を用いた講義とする。
35	生活支援技術Ⅳ	60	近藤 真名美 藤原 記代子	病棟看護師、訪問看護師の経験を踏まえ、利用者と家族が抱える不安、介護者への要望等を具体的に伝えていく。そして、私たち介護職がすべき支援内容(支援技術)を具体的に考え、実践に結びつけることができるよう演習指導する(近藤)。 管理栄養士として、病院や福祉施設(高齢者・障がい者)で患者・利用者の方々への栄養管理、栄養士・管理栄養士養成施設での勤務に従事して参りました。それらの経験を活かし、「健康に生きる」ことを「食」を通して一緒に考え実践に繋げて参りますが、最終目標として、患者・利用者の方々の、そして学生さん自身のQOLの向上が図れるような視点を養って頂ければと思います(藤原)。
36	介護過程Ⅲ	60	齊藤 美由紀	介護福祉士として長年介護現場で勤めており、実際の福祉制度・介護の変遷の現状を伝える事ができる。高齢者・障がい者・施設系・在宅支援と各サービス種別で介護業務に携わってきたことで、種別ごとの介護現場や、実際の事例を用いた講義とする。
37	介護過程Ⅳ	30	齊藤 美由紀	介護福祉士として長年介護現場で勤めており、実際の福祉制度・介護の変遷の現状を伝える事ができる。高齢者・障がい者・施設系・在宅支援と各サービス種別で介護業務に携わってきたことで、種別ごとの介護現場や、実際の事例を用いた講義とする。
38	介護総合演習Ⅲ	30	岡本 啓介	介護福祉施設等での勤務後、介護福祉士養成校教員として20年以上の指導経験があり、現在も介護事業所等で介護教育、介護システムのアドバイザーを務める。それらの経験を活かし講義を行う。
39	介護総合演習Ⅳ	30	岡本 啓介	介護福祉施設等での勤務後、介護福祉士養成校教員として20年以上の指導経験があり、現在も介護事業所等で介護教育、介護システムのアドバイザーを務める。それらの経験を活かし講義を行う。
40	介護実習Ⅲ	210	学科専任	介護・医療の現場を経験した教員による指導。
41	認知症の理解Ⅱ	30	齊藤 美由紀	介護福祉士、介護支援専門員として10数年介護現場に従事。これまでの様々な経験や実際の事例を通し、理想論だけでなく介護現場で習得した知識をどのように活かしていくのか、学生がより深くイメージできるよう授業を進める。
42	障害の理解Ⅱ	30	金城 隆	看護師取得後、病院・福祉施設に10年以上勤務。現在も福祉事業所で高齢者の健康管理・リハビリなどを担当する。様々な疾病・障害による症状やケア・リハビリテーションの実例を交え講義する。
43	障害の理解Ⅲ	30	金城 隆	看護師取得後、病院・福祉施設に10年以上勤務。現在も福祉事業所で高齢者の健康管理・リハビリなどを担当する。様々な疾病・障害による症状やケア・リハビリテーションの実例を交え講義する。
44	こころとからだのしくみⅢ	30	八子 久美子	看護師として大学病院で3年、訪問看護ステーションで8年の実務経験を生かした講義を行う。特に人生の最終段階におけるケアについては、大学病院で看取りと、訪問看護で行った看取りの違いについて示し、介護福祉士が最期まで寄り添うケアとは何か考えられることを目指す。
45	こころとからだのしくみⅢ	30	金城 隆	看護師取得後、病院・福祉施設に10年以上勤務。現在も福祉事業所で高齢者の健康管理・リハビリなどを担当する。人間の生活場面の応じたこころとからだのしくみや観察のポイントなどを事例を交え講義する。
46	医療的ケアⅠ	60	金城 隆 近藤 真名美	看護師取得後、病院・福祉施設に10年以上勤務。現在も福祉事業所で高齢者の健康管理・リハビリ・医療処置などを担当する。現場の事例を交えた講義をする。
47	医療的ケアⅡ	60	金城 隆 近藤 真名美 田中 典江 竹内 麻貴 宮崎 弘美 古田 由美子	看護師取得後、病院・福祉施設に10年以上勤務。現在も福祉事業所で高齢者の健康管理・リハビリ・医療処置などを担当する。現場の事例を交えた講義をする(領域主任：金城)。
48	介護の応用	30	齊藤 美由紀	介護福祉士、介護支援専門員として十数年介護現場に従事。これまでの様々な経験や実際の事例を通し、理想論だけでなく介護現場で習得した知識をどのように活かしていくのか、学生がより深くイメージできるよう授業を進める。
49	高齢者自立支援介護	30	小平 めぐみ	介護老人保健施設、デイケア、デイサービス、訪問入浴等で15年以上勤務。その中で、自立支援介護の実践と研究を行ってきたため、その経験を用い授業の中で活用する。